

福岡市ソフトボール協会

【設立年月日】

1962（昭37）年

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

2011（平23）年 津田 隆士

2020（令 2）年 伊藤 嘉人

【歴代理事長】

2005（平17）年 大富 淳司

2017（平29）年 梅田 佳暉

2018（平30）年 久野 伸一

【沿革】

福岡市でのソフトボールの始まりは、昭和20年頃にアメリカ駐留軍によって（駐留基地）現在の雁の巣レクリエーションセンターでソフトボール競技が紹介されて福岡市を中心に普及しました。

福岡市ソフトボール協会は設立目的として「市民相互の親睦と融和を図り、健康維持と青少年の健全育成を図る」を目的として設立されるとともに福岡市体育協会「現在のスポーツ協会」に加入し次の事業を実施するとされていました。

- ①福岡市体育協会との共催によるソフトボール大会の開催
- ②技術指導員を派遣してチームの増強と育成を図り普及発展に努める
- ③リーダー・バンク登録指導者の養成講習会を実施し優秀な指導員の養成に当たる
- ④公認審判員・公式記録員の養成に当たる
- ⑤市内における全てのソフトボール大会の審判員を派遣し、正しい試合の運営と指導に当たる

福岡市出身（南区柏原）の上野由岐子投手（現ビックカメラ所属）が、2008（平20）年に開催された北京オリンピックで金メダルを獲得しました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ソフトボール競技でも金メダルを獲得されました。

【現在の活動】

福岡市7区に各支部を組織し、老若男女を問わず生涯スポーツとして広く愛されているソフトボール競技の普及促進に努めています。当協会の組織は福岡県下10地区の中でも最大の規模であり、県下の組織でも重責を担っております。

【本協会主催の大会・教室】

- ・市民総合スポーツ大会
- ・福岡市少年チャンピオン大会
- ・福岡市少年育成大会
- ・壮年・実年・女性の各種大会
- ・ソフトボールスポーツ教室
- ・中体連・高体連の大会



「高校生によるソフトボール教室風景」



日本女子1部リーグ福岡大会